

## 個別の教育支援計画 I-①&lt;基本情報&gt;記入例

氏名	とうぶ たろう			生年月日	平成21年8月5日	
	東部 太郎 性別(男)					
住所	坂出市△□町1丁目○-○ 谷町○丁目5番 (H31. 2月～) 母携帯TEL (090-.....)			出生時の体重	3890g	
保護者	東部 花代			住所	同上	
家族構成	続柄	氏名	生年	続柄	氏名	生年
	母	東部 花代				
	妹	○美	H24 3月4日			
	—祖母—	—坂出よし子—	H31 2月別居			
訓練歴	支援機関名	開始年月	担当者	障害名病名	広汎性発達障害ADHDを併せ持つ軽度発達障害 (H27.11.9)	
	地域支援センター「**」	H29. 5月	ケアマネージャー 東○□子			
相談歴利用機関	事業所○放課後デイサービス	H29. 6月	南○	医療歴 ・投薬歴 (年月日)	広汎性発達障害ADHDを併せ持つ軽度発達障害 (H27. 11. 9) □□クリニック (□山○夫Dr.) ストラテラ (H27年11月10日～ エビリファイ追加 (H30年1月20日～)	
	△△塾	H29. 9月	塾長 山○			
	学童保育(なかよし)月火金	R2. 9月				
教育諸機関在籍歴	期間	校園(所)名<特別支援学級在籍の有無>			諸検査結果等 (年月日)	
		坂出△△園 (H. 254月～27 3月) 坂出市立東部小学校 3年～6年特別支援学級(自・情)在籍				田中ビネーV IQ76 (H27. 11. 9) 坂出市教育支援委員 ○○△△ 田中ビネーV IQ73 (H29. 6. 4) 県障害福祉相談所 田中ビネーV IQ73 (R1. 6. 10) 県障害福祉相談所
					種類	年月日
					療育手帳B	平成29年度6月4日 令和元年度6月10日更新
					手帳等	

## 個別の教育支援計画 I-②記入例

作成者 氏名

(作成日 29 年 月 日)

氏名	とうぶ たろう		生年月日	学級 年
	東部 太郎		平成 年 月 日	あゆみ 3組 交流学級 2年2組
本人保護者の 願い (進路等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○○○ようになって欲しい。</li> <li>・～ができるようになって欲しい。</li> </ul>			
領域	学校での様子 (28年5月)	支援の方針	関係機関など	
生活面	・生活リズムが整わない。就寝時間が遅くなり朝起きられない。夜中にゲームなどをすることもある。	・放課後の時間の使い方を検討する。デイサービス利用を検討する。	事業所○○ ○放課後デイサービス利用 (6月より月10回利用)	
学習面	・家庭学習をしてこないことが多く習ったことが定着しない。	・デイサービスが利用できるようになってきたらそこで宿題をさせてもらう。デイサービスがない日は塾などの利用を検討する。また、近所の祖父母の家でも週に1～2日程度見てもらえないか依頼する。	△△塾 (9月3日より)週2回	
社会性	・休み時間に友達とのトラブルが多い。言葉が少なく言いたいことが伝わらない、言葉で説明する前にすぐに手が出て乱暴をはたらく。解決方法が分からない。	・自立活動でソーシャルスキルトレーニングを行う。積み重ねてできたことを褒めることで自尊感情を高める。ひまわり教室のSSTの指導にもデイサービスの無い日に利用する。	ひまわり教室 月1回(7月より)程度	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できるできない」「したい、したくない」がはっきりしていて興味関心の幅が狭い。経験不足から見通しが立たずに不安になることが多い。</li> <li>・体重増加(5月35キログラム)が著しい。</li> </ul>	・いろいろな経験ができるように忙しい母に代わって移動支援のサービスを受け、休日に運動できる施設に連れて行く。	未定	
評価 引き継ぎ事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に立てた支援の方針通りに放課後デイサービスやひまわり教室の利用はできた。そこで落ち着いて宿題をするようになって学習も定着してきた。</li> <li>・自立活動でのソーシャルスキルトレーニングで友達とのトラブルも減ってきた。祖父母の家には長期休みに母親と訪問する程度でまだ預かって見てもらえるまでにはなっていないが、一人で留守番することも2～3時間程度ならできるようになってきた。</li> <li>・休日の移動支援は関係を結べていないので今後の課題である。急に1日は難しいので徐々にお互いになれるようにしていく必要がある。</li> </ul>			

個別の指導計画(通常学級) 記入例

すべての目標欄を埋めなくてよい・重点化したい項目を学期で選定

		記入日( )		記入者( )	
児童名				担任名	
困っていることの実態					
長期目標		できるだけ、本人や保護者の願いを取り入れ、計画・評価に参画してもらう。1年間程度の目標。緊急性のあるもの等優先順位をはっきりと。3項目以内。			
		短期目標 学期を① ② ③で表記	支援方法	変容と評価	
重点化して取り組む目標	学習面	① 肯定的な表現で、具体的に記述。評価が可能な目標がよい。	① 目標達成のための具体的な手立てを設定する。	① ◎○△の表記を使ってもよい。 ◎が達成できたら次の目標に移行。	
	行動面				
	社会性	②例 うれしいことを教師や友達に伝えることができる。(1日1回) ③つらいこと、困ったことなどを教師に伝えることができる。(週一回)	②例 9枚の表情カードを活用し、授業中や休み時間にタイムリーにうれしい気持ちを伝えることができる。	②10/9◎ 帰りの会でもよい友達の行動を称賛して喜んでいた。	
	その他学級経営等	①帰りの会の班グループ発表の時には、報告係として活躍の場を設定する。	①話型カードをもとに、グループ内で練習した後、発表をして自信を付けていく。	①7/9◎ 友達からも話し方の上手さを称賛されていた。	
関係機関 検査結果等		【教育・医療・福祉等】 ・2016 3.20 ○○子供クリニックにおいて診断 ( ) 症) ・2016. 4.2 田中ビネーV IQ 89 (検査者 △△ □□)			
引継事項		・2015年6月より,虐待事案として見守りになっている。			